

製品名: カスパーゼ 4 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87504

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:45 kDa

抗原情報

遺伝子名	Caspase-4
別名	TX; Mih1; ICH-2; Mih1/TX; ICEREL-II; ICE(rel)II
遺伝子 ID	837
SwissProt ID	P49662
免疫原	ヒトカスパーゼ 4 の組み換えタンパク質

背景

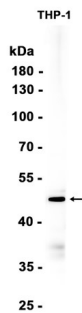
この遺伝子は、システイン-アスパラギン酸プロテアーゼ（カスパーゼ）ファミリーに属するタンパク質をコードしています。カス

パーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは、プロドメインと大小のプロテアーゼサブユニットからなる不活性なプロ酵素として存在します。カスパーゼの活性化には、保存された内部アスパラギン酸残基におけるタンパク質分解処理が必要であり、大小のサブユニットからなるヘテロ二量体酵素が生成されます。このカスパーゼは、自身の前駆体タンパク質だけでなく、カスパーゼ 1 の前駆体タンパク質も切断・活性化することができます。この遺伝子が過剰発現すると、細胞アポトーシスを誘導します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



カスパーゼ 4 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した THP-1 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。